

国道169号の整備促進について

【担当省庁】国土交通省

下北山村・上北山村・川上村における取組

(現状・課題)

一般国道169号は、紀伊半島東部を南北に縦断し、京阪神・奈良県と東紀州を最短で結ぶ幹線道路で、沿線地域住民の生活、福祉、医療、防災並びに地域経済の活性化、観光振興、地方創生を担う重要な物流道路であるとともに、災害発生時には緊急輸送道路及び紀伊半島アンカールートの一翼として、救援・輸送活動を支援する役割を担っている。

また、令和3年7月に近畿ブロック及び奈良県において広域ネットワーク路線として高規格道路に位置づけられた「奈良中部熊野道路」が令和4年4月に重要物流道路の候補路線に追加指定され、三村管内では「伯母峯峠道路」が事業区間に、「下北山村前鬼～上池原」が計画区間に指定されている。

しかし、川上村～上北山村～下北山村(三重県との県境)区間においては、急峻な山間地域のため、急カーブ、狭隘箇所が連続し、各トンネル・橋梁の幅員も狭く、車両同士の交差が困難なほど大変危険な状況にある。

特に、川上村迫～下北山村(県境)までの区間においては、脆弱な箇所が多く、近年多発している局地的大雨や、台風等により法面崩壊や、雨量規制による通行止めが頻発し、広域の迂回路通行を余儀なくされ、地域住民の生活だけでなく観光客の集客にも多大な影響を与えている。

伯母峯峠道路の整備については、着手して頂いているが、引き続き道路に対する防災・安全・安心の意識を再度確認し、早急な道路整備を必要とする。



国にお願いすること

地域住民の安全・安心のため国土強靱化並びに経済の活性化、観光振興や平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保のため、下記について要望する。

国道169号の着実な整備と必要な道路予算確保

【担当部署】 奈良県市長会・奈良県町村会